

アンケート結果から 見えてきたこと

つながりアンケート

- ◇つながりを感じている人が大半（98%）
- ◇話す人がいなく、孤立している方もいる
- ◇困りごとを相談できる人がいない
- ◇気軽に交流できる機会や場が少ない
- ◇誘ってくれる人が欲しい

数珠つなぎアンケート

- ◇身近な所でふらっといける場所が欲しい
- ◇誰かと気軽に交流できる機会が欲しい
- ◇フェスタやマルシェなどで新しい出会いが欲しい
- ◇誘ってくれる人がいることでつながりが広がる。
- ◇困りごとを相談できる人が近くにいて欲しい。

＜あったらいいな＞

身近に集える場所が欲しい！

アンケート結果の共通点として、ご近所のつながりを大事にしながら、気軽に集える場所（拠点）を望まれている人が多く、誘いを待っている声もある。

◇集いの拠点（新コミュニティセンター）

- ・自由に集まれる場所（フリースペース）
- ・多世代が集える催事（地域行事）

◇集いの場と魅力の情報発信が必要（SNSなどの活用）

◇誘い合えるつながりの輪（コミュニケーション）

市福みらい会議から「見守り合い」のお願い

令和6年は能登半島地震に始まり、夏には宮崎県で震度6弱の地震（マグニチュード7.1）が発生しました。気象庁は「南海トラフ地震臨時情報」を発表して大地震への備えを呼びかけました。9月に開催の広縁会（懇談会）テーマにもなりましたが、災害時にはご近所が助け合える“つながり”が大切であることを再認識したところです。

アンケート結果から、市辺地域ではご近所や自治会で身近なつながりを作って頂いていることが確認できました。市辺の地域福祉を考える”市福みらい会議”では、ふだんの暮らしの中の声掛けが見守り合いにつながるものと考えます。見守り合いはお互いに安心を得ることができます。そして災害時には相互の協力が不可欠な、共助と言われる助け合いにもなります。皆さん一緒に進めて行きましょう！

- ① いさなつながり
- ② つまでも
- ③ きん所の声掛け
- ④ やして元気（安心）
- ⑤ らしのお宝
- ⑥ しゃ会のつながり



発行元 市福みらい会議
発行日 令和6年10月10日
問合せ先 市辺コミュニティセンター
TEL / FAX 0748-22-0203

このリーフレットは、東近江市生活支援体制整備事業第2層協議体運営業務の委託を受けて作成したものです。

いちのべ地域のお宝 つながり 広縁縁

第3号

見守り合いに向けた
市福みらい会議からのお願い

座長 谷 精一郎

市福みらい会議では健康とフレイル予防をテーマに、身近なつながりの紹介に取り組んでいます。この4年間は新型コロナウイルス感染症予防をしながら、月例会議や広縁会（懇談会）を開催し、地域の集いの情報誌として「つながり広縁縁」の発行をしてきました。



グループ懇談結果を紹介 全員で共有化

「災害から考える見守り合い」
広縁会で情報提供
（市社協）
令和6年9月26日



第3号となる広縁縁は全戸を対象にしたアンケート結果の集計です。初回のアンケートで集いの魅力として感動が最も多く、充実した生活を送るためにも新鮮な出会いを求められています。二回目となる昨年の「つながりアンケート」では、今ある集いを大事にしながら、誰もがどこかでつながる機会の「現状と今後」について訊ねました。三回目のアンケートは文化祭会場で来場された方に「数珠つなぎアンケート」をお願いしました。今回の広縁縁はそのアンケートの集計結果とそこから見えてきた地域福祉活動への取り組みについてお知らせし、皆様に協力をお願いするものです。

つながりアンケート

期間：令和5年5月5日～7月14日
（回答者数：370名）

数珠つなぎアンケート

期間：令和5年11月1日～5日
（回答者数：126名）

＜基本情報（男女・年代別ほか）＞

＜日常のつながりについてお聞きします＞

- 設問1 どのような人とお付き合いされていますか？
- 設問2 どのようなお付き合いですか？
- 設問3 お付き合いのきっかけは？
- 設問4 あなたが参加できる居場所はありますか？

＜今後の取り組みについてヒントを教えてください＞

- 設問5 つながりの範囲で大切と思うのは？
- 設問6 どのようなつながりの機会があると良いか？
- 設問7 どんな工夫があると良いか？
- 設問8 つながり広縁縁を知っていますか？
- 設問9 広縁縁についての感想



速報掲示と文化祭の様子

＜あったらいいな＞

つながりアンケートから、問6・問7を具体的に「こんなことしたいな」「こんな場があればいいな」を問いかけました。下のカテゴリをヒントに答えて頂きました。

＜カテゴリ＞

- ◎ 気軽に出会い話せる場
- ◎ 自由に交流できる場
- ◎ 趣味サークル活動
- ◎ 同世代が集える場
- ◎ 多世代が集える場
- ◎ 情報が受発信できる場
- ◎ 同じ境遇の方が集う場
- ◎ 勉強や学びの場
- ◎ 得意なことができる場
- ◎ 暮らしの悩みが話せ、相談できる場



アンケートに回答する様子

※本号では今回のアンケート結果を掲載しました！

つながりアンケート

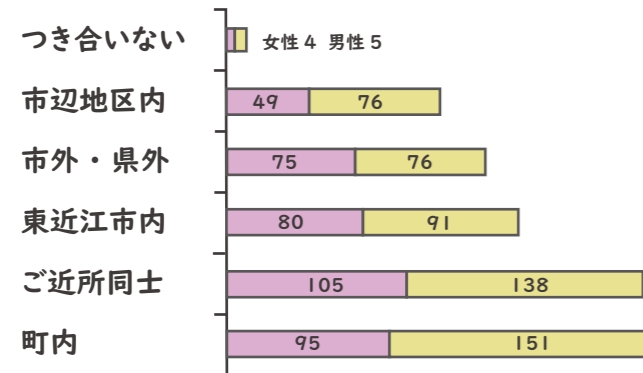
<基本情報> 回収率 34%(対象 1085 戸)

男女別回答者数	
男	212 人
女	154 人
無回答	4 人
合計	370 人

職業別回答者数		
会社員・公務員	133 人	36%
無職	132 人	36%
自営業	42 人	11%
パート・アルバイト	31 人	8%
無回答	29 人	8%
学生	3 人	1%
合計	370 人	

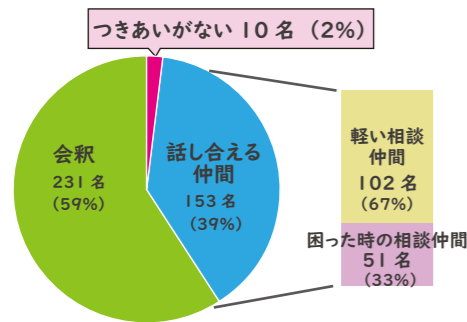
年代別回答者数		
10代	3 人	0.8%
20代	1 人	0.2%
30代	9 人	2.4%
40代	48 人	13.0%
50代	87 人	23.5%
60代	94 人	25.4%
70代	90 人	24.3%
80代~	35 人	9.5%
無回答	3 人	0.8%
合計	370 人	

問1 日常の暮らしの中で、どのような人とお付き合いをされていますか？ (複数回答) (回答総数 945)



- 女性「ご近所同士」のつながりが一番多い
 - 性別問わずご近所でのつながりがある
 - 男性は「町内」の付き合いへと少し広がる
- ※問4で分かるように男性は自治会活動(行事)を通じて広がっている。

問2 日ごろ近所の方(町内・市辺地区内)とどのようなお付き合いをされていますか？ (複数回答) (回答総数 394)

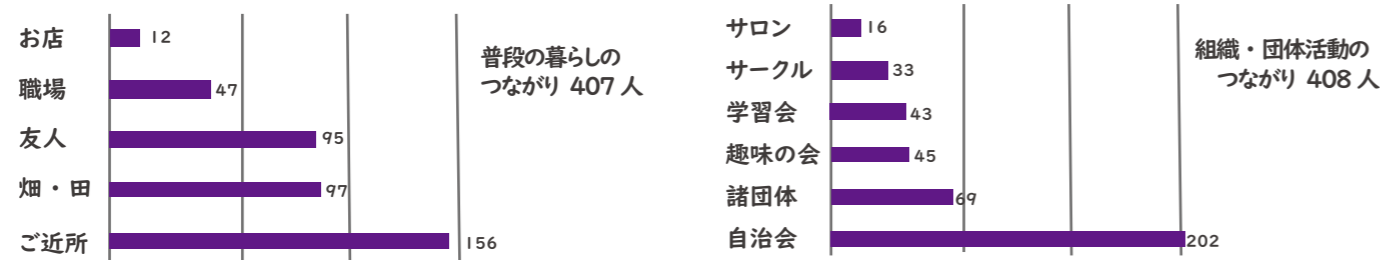


- 「会釈」「話し合える仲間」「付き合いが無い」に分類した時
- ※ 会えば挨拶する程度が 59%
- ※ **話し合える仲間が 39%**

- **話し合える仲間 39%を 100とした時**
- ※ 約 7 割の人が軽い相談できる仲間
- ※ 約 3 割が困った時の相談仲間

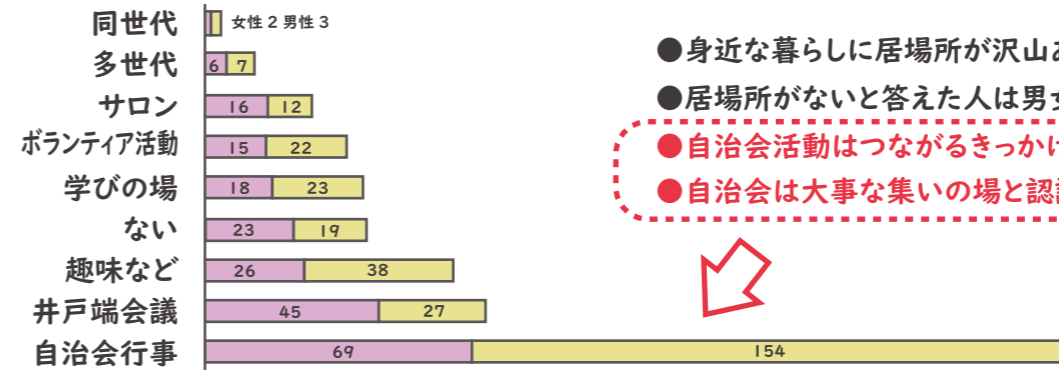


問3 どのようなキッカケで繋がりましたか？ (複数回答) (回答総数 815)



- 組織(団体)と日常の自由なつながりのどちらもある
- 畑・田のつながりは 60代から増えている
- 畑・田のつながりは相談できる関係まで広がっている (60%)
- 自治会が繋がる機会と感じている人が多い
- ご近所で顔を合わすことがきっかけになっている

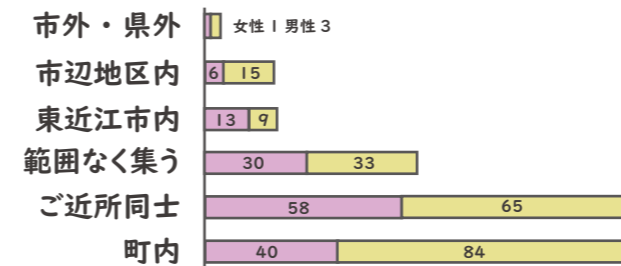
設問4 町内・市辺地区内にあなたが参加できる居場所や集いの場がありますか？ (複数回答) (回答総数 525)



- 身近な暮らしに居場所が沢山ある
- 居場所がないと答えた人は男女ともにいる (50代)
- 自治会活動はつながるきっかけ
- 自治会は大事な集いの場と認識している人が多い



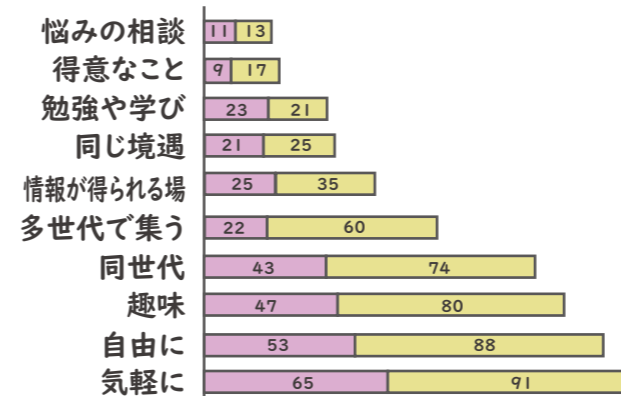
設問5 今後、どのような範囲のつながりが大切だと思いますか？ (回答総数 357 無回答 13)



- つながりの範囲を
- ・広範囲(市外・県外)
- ・中範囲(地区内・市内)
- ・小範囲(ご近所・町内)に分類した時

※ご近所・町内のつながりが最も多い(約70%)

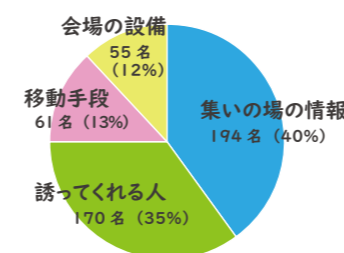
設問6 今後、どのようなつながりの場や機会があるとよいと考えますか？ (複数回答) (回答総数 823)



- 気軽に集える
- 趣味仲間
- 同世代のつながり
- 多世代のつながり
- 自由に交流できる機会や場



設問7 つながる場に参加する参加し続けるにはどんな工夫があるとよいですか？ (複数回答) (回答総数 480)



- お誘いがあれば参加しやすい
- お誘い出来る「つながり」の関係が大事
- 集い会場までの移動手段が課題

設問8 「つながり広辞縁」を知っていますか？

- 知らない 60%
- 知っている 38%
- 無回答 2%



設問9 「つながり広辞縁」についての感想

- 良かった 75%
- 悪かった 0.8%
- 必要ない 14%
- その他 10.2%